

節分会祭文のこと

謹しみ敬つて真言教主大日如来两部界会殊ことわに別いては本尊聖者
薬師瑠璃光如来、観世音菩薩、諸尊諸菩薩十二神将、総じては
薬師堂境内、勸請の諸天善神等内外権実一切の聖衆に白して言
さく。

伏して惟れば安養寺本尊薬師如来は、日本一の湖沼を誇る琵琶湖湖南にあつて東方山を背景に安養蜜寺の浄刹に鎮座ましまし、
近江の国一帯を鎮護する靈像なり。奈良時代天平十一年聖武天皇の発願から良弁僧正を開創とする安養寺は国家安穩国民豊樂を
祈願して病魔退散の薬師信仰を布行する大靈場なり。

時代は平安期に移り、承和元年、真言密教開祖の弘法大師により堂宇が再建されて以来、大師を中興の祖と仰ぐ、「濟世利人」

大刹とし、大師信仰の確たる靈場に発展す。開運厄除の本誓余尊ぼんせいよそんを越え庶民守護の悲願、他誓に勝つて靈能是れ高く巨益弥々深し。
更に現任職熊谷俊亮任職の代になつて教化の教田は広がり民族の一大美風であるご先祖感謝、崇拜の念深まり、檀家入檀者が増加する一方、地域の法域として光彩を放つ。

その行事として本日節分の吉辰をトし妙供を宝前に献じて密法修して、法樂を天尊に供ず。

鬼は外、福は内」で邪気を払う追儼の行事は、転禍為福、禍を転じて福と為す。禍福に門なし、ただ人の招く所といわれる。

禍い福はあらかじめ定まった門から入ってくるのではなく、悪を行えば禍いが来りて、善を行えば福が来る、との道理から幸い不幸は

自らの所業が招くものとさとされている。さらに大難を小難に、小難を無難に転じる転禍為福、開運の密教を本日は安養寺に続いて草津中心の遍照寺においても中野恵道住職導師のもと執り行われる。

熊谷俊亮任職は仏道精進に身を挺され、檀信徒への教導に三百六十五日無休の働き蜂となる。今年は今まで四十年間、欠かせなく続行された四国八ヶ所霊場巡拝の四十周年。この集大成、記念を期して来月三月二十二日から三十一日までの十日間を仏法、大師信仰のワラジを履いての巡拝行をつとめられる。

これには大勢の檀信徒の参加も得られ、不肖私も許されて、おとをもさせて戴く。がんからの回復、復帰を感謝しお礼の同行二人の遍路を戴けて無上の喜びとす。

さて本日は邪心悪心が起こりなば、その鬼を取り除いて本来の清浄心へと立ち返る」人間回起の節分会を修行し終わんぬ。

仰ぎ願わくば本尊聖者、薬師如来並びに観音菩薩、衆庶が微中を哀愍して此の法味を嘗め、威光を倍増して速やかに慈悲を施

中を哀愍して此の法味を嘗め、威光を倍増して速やかに慈悲を施

し玉へ。

重ねて乞う。

家内安全 除災招福 家業繁栄

福寿如意 乃至法界 平等利益

平成三十年二月三日

京都府向日市寺戸町西垣内十五―六十四

亀光庵住職

土口哲光 敬白